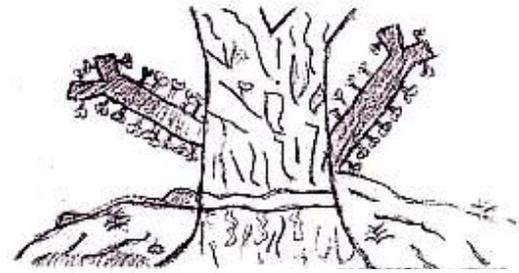


# 命の大切さ「ヒキガエルとロバ」

宮本 真由美

## 1 あらゆる活動の中で「命を感じよう！」

子供たちの多くが、動植物の死に直面したときに命を感じているという実態から、日常生活のあらゆる場で命を意識させたいと考えた。命を意識できるようになってこそ、命を大切にしようとする心が育っていくと考えたからである。理科学習では「ホウセンカやヒマワリの命を感じよう！」、総合的な学習の時間では「大イチョウの命を感じよう！」と子供たちに命を感じることを意識させた活動を行った。命を意識させることによって、子供たちが今まで何気なく見ていたものにも命を感じることが分かってきた。



### <大イチョウの命を感じよう！>

一粒の種からこんなに大きくなったんだ。

千年以上生きてきたなんてすごいな。

根は重い体を一生懸命支えているんだな

命を守って、冬を乗り越えて欲しい

## 2 命の大切さを 道徳「ヒキガエルとロバ」の実践

### (1) 主な学習の流れ

手のひらを太陽に」を歌う



ヒキガエルに石をぶつけていたアドルフたちの気持ちを考える



くぼみの中でじっとしているヒキガエルを見つめるロバの気持ちを考える。

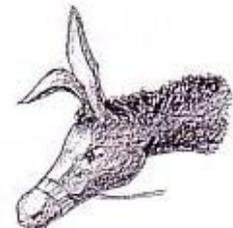


いろいろな生き物の命を感じながら、元気よく歌おう。



気持ち悪いな。いじめてやれ。こんなカエルなんて。死んでしまえ。

生きているのかな。だいじょうぶかな。いたそうだな



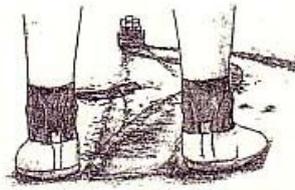
こんなことだれがしたんだろう。つらかったらうな。

くぼみの中のヒキガエルと遠く  
去っていくロバを見つめている  
子供たちの気持ちを考える。



これまでの経験から命を大切に  
しなければいけないと思ったこ  
とについて話し合う。

道路にいたオオカマキリ  
がひかれそうだったので、  
急いで助けたよ。



< N児のワークシートより >

ぼくたちは、なんでヒキガエルやロバ  
の気持ちを分かってやれなかったんだろ  
う。ロバは、自分の力をふりしぼってが  
んばっていたんだな。もう、ぜったい動  
物をいじめないぞ。ヒキガエルやロバに  
も人間と同じ命があるから大切にしない  
といけないんだな。

## (2) 学習を振り返って

資料は、子供たちの本音が出やすく、  
共感できる部分もあり、求める道徳的  
価値に近づけるために有効であった。

中心発問では、ロバの行為を見つめ  
たことによって、いっそう生き物の命  
の大切さを感じ取っている。また、ワ  
ークシートに書くことによって、これ  
までの自分と対話しながら、より高い  
価値に気づいていくことができた。



< 授業後の S 子の感想より >

ロバは、バシバシたたかわれている痛みにも負けずに、ヒキガエルを助けようと  
しました。つらくてもがんばっているロバを見て、アドルフの手から石が落ちま  
した。ロバのうれしそうな顔が通り過ぎて行ったとき、みんなの心が通じたと思  
いました。ヒキガエルは生きようとしてがんばり、ロバはヒキガエルの命を守る  
ためにがんばり、子供たちは、ひどいことをしてしまったことを反省しました。  
みんなの気持ちがつながり、やさしい気持ちになってよかったと思いました。

## 3 命あるものを大切に

- ・ 総合単元的な道徳学習をすることによって、より多くの場で命を意識させることが  
できた。命を感じるによって、今までの見方や考え方が違ってきた。単に「生き  
ている」ではなく、そのものに子供たちの心が寄り添うようになってきたと思われる。
- ・ 命を感じるのは、生死だけではない。自分自身が、今、生きていること。そして、  
友達も。いろんな生き物たちが。生きていることをもっと感じ、今後は、どう生きる  
のかを考えさせたい。それは、「きらきら」から、「いきいき」「ほかほか」へつなが  
り、自分の生き方そのものを考えることが、命あるもの全てを大切にすることにつな  
がると思うからである。